文教環境分科会

電子図書館の詳細について説明を求める

○図書館サービス推進事業費／運営・サービス事業費　617万5,240円

質　疑　電子図書館の詳細。

答　弁　電子図書館は昨年10月に開設した。図書館の貸出カードを持っていれば、スマートフォンやタブレットなどからウェブ経由で閲覧できる。電子図書館の開設・運用費用は約600万円で、その内訳として、開設に約160万円、残りはコンテンツ（紙の図書に代わる電子資料）費用である。コンテンツによりさまざまな契約形態があり、市が永続的に利用できる買い取り型や、２年間のみ閲覧可能なもの、貸出回数の上限に達すると閲覧できなくなるものがある。また、電子雑誌も約200コンテンツ利用可能である。

質　疑　現在のコンテンツ数。また、今後もコンテンツを増やしていくのか。

答　弁　開設当初は約800コンテンツであったが、現在は1,000コンテンツを超えている。今後も紙の書籍と同様、電子図書館の魅力を保つためにも、発刊されたものを加えていきたい。

地域福祉分科会

9月17日（午前）　9月17日（午後）

議案第55号　令和８年度鈴鹿市一般会計補正予算（第２号）

１歳児配置改善に向けた私立保育所などへの支援の考えを問う

○私立保育所等１歳児配置改善支援補助　1,622万7,000円

【概　要】　保育所などにおける１歳児の保育士配置を５対１以上に改善することに加え、処遇改善等加算区分の取得や業務におけるＩＣＴの活用ができているものの、職員の平均経験年数10年未満であることを理由に、１歳児配置改善加算の対象外となる保育所などへ補助を行うもの。

質　疑　鈴鹿市として国への働きかけは行っているか。

答　弁　10年以上という平均勤務年数についての要件の改善を国へ要望している。

質　疑　県の補助がなくなったとしても、事業を継続するのか。

答　弁　三重県の補助金は、新規拡充について３年間という規定がある。国へ要望している平均勤務年数の要件が解消されず、また県の補助金がなくなった場合は、市で事業を継続することを検討したい。

質　疑　ＩＣＴを活用していない園への働きかけは。

答　弁　以前から私立は、補助金を活用してＩＣＴを導入している。導入していない園は、ＩＣＴを活用しないと加算がないことはお伝えして、理解いただいている。